

『夏越の大祓』

日和佐八幡神社

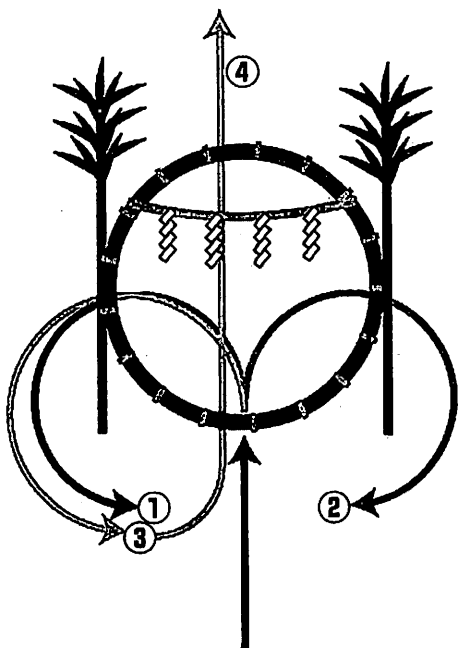
四七七一—三四七四

『茅の輪』をくぐり上半年の罪穢を取り除き、夏の暑さに負けずに乗り切り、残りの半年も元氣にお過ごしください。

唱詞 『祓へ給ひ 清め給へ 守り給へ 幸へ給へ』

茅の輪のくぐり方

- ①はじめに茅の輪の前にて一礼してくぐり、唱詞を唱えながら左に回ります。(一回目)
- ②次に茅の輪の前にて一礼してくぐり、唱詞を唱えながら右に回ります。(二回目)
- ③次に茅の輪の前にて一礼してくぐり、唱詞を唱えながら左に回ります。(三回目)
- ④最後に茅の輪の前にて一礼してくぐり、御神前に進んでお参りします。

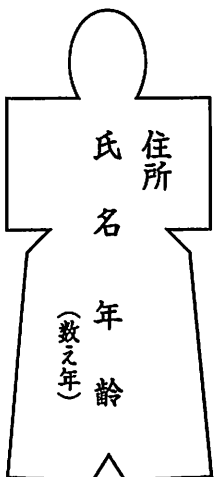


水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり

『本居宣長拾遺集』

人形(ひとがた)をご奉納ください

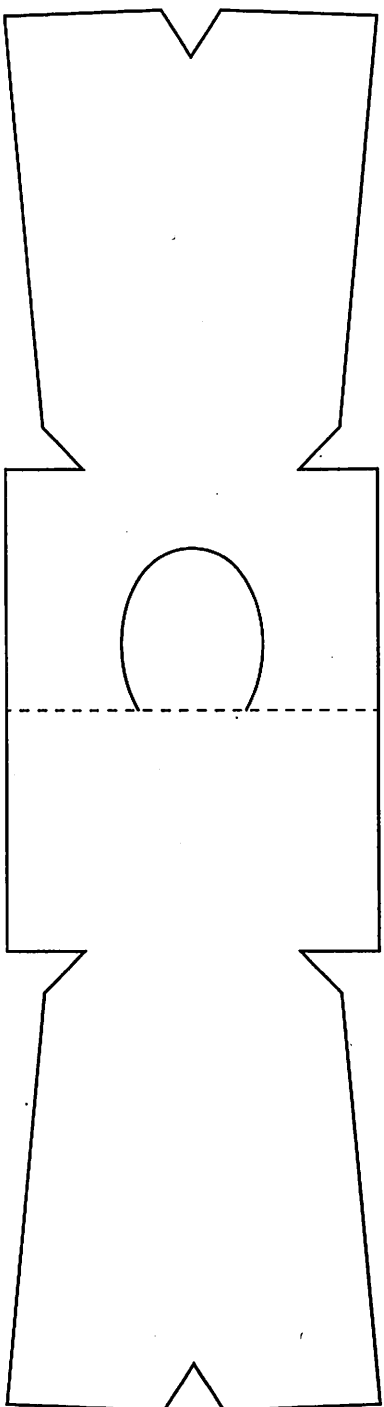
- ①黒線を切り抜き半分に折り人形にする
- ②人形の内側に氏名・住所・年齢(数え歳)を記入
- ③身体の気になる箇所を人形で撫で、息を三度吹きかけます
- ④人形を奉納し、お参りください



ご祈禱料 一体二百円以上 お志を賽銭箱へお収めください

※奉納していただいた人形は、宮司がお祓いを行い、罪穢れとともに

大浜海岸から大海原のはるか彼方へ流す、流却神事を六月三十日斎行します。



切り抜いてお使いください。(人形は神社にもご用意しています)